

SINB (Servas International News Bulletin) Vol.52 No2, 2024

国際サーバス会報 2024 年 2 号

記事を要約してお届けしています。(国際サーバスのホームページで全文が読めます)

会長挨拶、編集長よりメッセージ、ニュージーランド、スリランカ、カナリア諸島への旅、持続可能な旅について、ドイツのニュルンベルクでのユースキャンプ、バングラデシュでの子供たちのアートコンペティション等々興味深い記事が掲載されています。

国際部代表 田尻文代 今回の担当 島村雅子、田尻文代

p	タイトル、著者、要約
3 4	President's Message Radha Radhakrishna 国際サーバス会長 家族でパリ、ストラスブール、チューリッヒのホスト宅でステイ、素晴らしい経験が出来た。また以下に会員に向けての3つのメッセージが書かれている。 1 次回の国際サーバス総会のお知らせ、2025年10月3日から9日 フランスのディジョン 2 著作権について(他人の記事、写真を使用する場合は許可を得たもの、肖像権については本人の了解を得たもののみを使用する事) 3 数名の会員からボランティア活動にかじ取り変更かとの質問を受け、サーバスの方向性は変わっていないことをお知らせしたい。
5	An Extraordinary Vote Jonny Sågänger 国際サーバス事務局長 2024年5月15日から25日まで開催した国際サーバス臨時総会で3つの動議が多数の賛成で決議された。内容は国際サーバスホームページで。
6 7 8	Letters to the Editor Michael Johnson SINB 編集長 *アメリカサーバス会員 Fred は毎土曜日の夕べ、オンラインのチャットとフィルム上映会をしている。 問い合わせは sail1942@gmail.com スウェーデンサーバス会員 Bjorn S より、病気回復中で、今までのサーバス旅行でお世話になった人々への心からの感謝の表明。 *なお、SINB の他にも各国サーバスの会報が発行されています。servas.org でチェックしてください。Google 翻訳が使えます。 Thanks to Two SINB Teams 前回の SINB を編集した素晴らしいチームとレギュラーチームの紹介や編集部へのメッセージを紹介。
9 10	SYLE(Servas Youth Language Exchange) in New Zealand Celia R スペイン サーバス 1 か月間自然と人々との交流を楽しみ、文化を知り、英語をステップアップする為の体験が出来た。5つの家庭に滞在できとても感謝している。次は私がホストする番です。

11	Why Travel to Sri Lanka ? Isabelle Girard カナダサーバス
12	<p>スリランカの厳しい状況に周りは心配したが、ホストたちからの現状のお知らせとはげましを受けて出発。滞在中は何も心配するようなことは起こらず、反対に、人々はとても親切で、3家庭にお世話になった。旅の内容と共にスリランカの現状が述べられている。</p> <p>Welcome to Sri Lanka! Ken & Visakha Kawasaki スリランカサーバス</p> <p>私達は 1975 年からサーバス会員で、日本、アメリカ、今はスリランカに 18 年在住。スリランカはコロナ後この 2 か月で 8 人のメンバーを受け入れています。スリランカは政情不安の為 2 年間苦しみました。その間海外から沢山の援助を受け、最近ではサーバストラベラーや関係者各位から血圧測定器等を援助して頂き、こちらの医者達は大変感謝しています。もし、今後スリランカに旅行の予定があるならば、緊急に必要なリストを伝えますので援助をお願いしたいと思っています。</p>
13	
15	
16	Servas Towns Partnership
17	<p>ストラスブールでの 25 回目のサーバスタウンミーティング</p> <p>1998 年に二人のサーバスメンバーがフランクフルトとストラスブールでタウンパートナーシップを結ぶことを思いついた。その後ユトレヒト（オランダ）、バーゼル（スイス）トリア（ドイツ）も加わり、2 都市のタウンパートナーシップが 5 都市のそれになった。今では 20~30 人のゲストがパートナーの街に来て、その地のホストがいろんなプログラムを作り一緒に楽しんでいる。ルーベン（ベルギー）、マインツ（ドイツ）も加わった。2024 年、最初のミーティングの街ストラスブールで 25 回目のサーバスタウンミーティングが催された。ストラスブールでは 6 回目だったが、新しいプログラムが用意されていた。国境を越えてネットワークを作り友達と会い素晴らしい時を一緒に過ごす、これこそがサーバスならではのことである。新しいタウンパートナーシップを考えませんか？</p>
18	As Good as Bread Luigi Uslenghi イタリアサーバス
19	<p>サーバス創立 75 周年を記念してイタリア名誉会長の Uslenghi さんに挨拶をもらった。多くの会報で集約される言葉は「サーバスの存在に感謝」だ。75 歳になる偉大な組織サーバスを体験するのは人生の中の永遠に残る瞬間である。1984 年の組織ができて以来 4000 のイタリアの開かれたドアを代表するメンバーがまだ 12 人もいる。</p> <p>我々は皆で自由を歌う歌「Bella Ciao」を歌った。今でも皆で手をたたきながら「Bella Ciao」を歌う。サーバスメンバーである喜びを！</p>
20	Israel's Annual Meet Claudia S, NS イスラエルサーバス
21	<p>イスラエルの例会 2024 年 3 月 22 日イスラエルの年次総会に 35 人のメンバーが Yeruham に集まった。他の国からも 10 人以上、欠席者はズームで色々の議題につき話し合った。また役員選挙もした。後で観光、食事もした。</p>
22	Argentinians in Asia Ana Manghi アルゼンチンサーバス
23	<p>アルゼンチン人で 1997 年からのサーバスメンバーである私は 2024 年に 4 人のサーバスメンバーでアジア旅行を計画した。ブエノスアイレスから 32 時間かけてバンコックに着いた。旅は</p>
24	

	<p>ロードムービーのようだった。ホーチミン、次にインドネシアのホスト Aminさんはこの旅行のハイライトの一つだ。</p> <p>とてもユニークな人で多くの人を知っていた。クアラルンプール、ここでは以前から知っていたサーバスメンバーと会った。</p> <p>気候のせいで何日か気分の悪い日もあったが、この旅行を計画してとてもよかった。いろんなチャレンジの後で私は自分に自信がわいてきた。色んな違いはあるけれど、我々は皆この地球に住んでいて、こういう体験を通して同じように笑い、食べて、楽しむことができる。</p>
25 26	<p>A Parallel Event at CSW68 Dr Hamsavahini Singh インドサーバス 女性の地位委員会 6 8 インドの国連委員</p> <p>1946年国連のECOSOC（経済社会理事会）決議でCSW（女性の地位委員会）が設立された。女性差別に関する法律や女性問題意識をグローバルに育てるために。1947年から1962年にかけて委員会は基盤を作り、国際的な会議も開かれた。CSW（女性の地位委員会）6 6, 6 7に参加した私はCSW 6 8で同様のイベントをプレゼンする気になった。私はメキシコのKerekesさんと2024年3月にジョイントイベントを開いた。「女性、貧困、差別——インドの遊牧民女性とメキシコの土着女性」というテーマで。</p> <p>要するに、もし行政が家族計画、教育、公正平等な賃金、社会福祉を優先させれば、一億の女性、少女が救われる、ということだ。</p>
27 28 29	<p>Canary Islands 2024 Sylvia Smitas カナダサーバス</p> <p>モロッコ沖のスペイン領カナリア諸島の8つの島に1月3日から3月3日まで滞在。様々なデイホスト、ホストたちにいるんな所に案内してもらった体験談。</p>
30 31	<p>Hosting and Travelling of Peace (An empty or meaningful formula? 空疎な決まり文句？それとも意味のある決まり文句？)</p> <p>Marie-Brigitte S. フランスサーバス</p> <p>2022年9月、国連事務総長アントニオ・グテレスが旅行を『進歩と相互理解の為のパワフルな道具である』と再定義するように呼び掛けたが、すなわち、人々に役立ち環境を尊重する旅行をと。2022年11月、国際サーバス総会で我々はより環境に配慮した、持続可能な旅行について討議したが、正にその時、サーバス同様国連から認定を受けたNGO団体のOSI(Objctif Sciences International 平和と発展のための持続可能な旅を主張する団体)がパリで展示会を開催し、サーバスに彼らが主催するイベントに参加し、スタンドを出すようにとの申し出があったのだ。何という不思議な一致であろうか！</p> <p>サーバスのスローガン『平和の為に異なったやり方の旅行とホストを』の精神で旅を再定義しよう！</p>
32 33	<p>Sleep in your own Guestroom! Michael Johnson SINB 編集長</p> <p>あなたがトラベラーの立場になって自分の家の客室にステイしてみたらどうだろうか？荷物をパックして、泊まってみて！私は先週実行してみて、タオルのラックを客室とバスルームのドアにつけたのだ。</p>

34	International Youth Camp Nuremberg, Germany Bonnie H, Manuela K
35	2024年5月、世界から30名の若者たちが参加した。旅行やサーバスの業務、その機会、持続可能性についてのワークショップに加え、ナチスについて学び、湖で泳ぎ、お互いの絆を結び、意見交換ができたミーティングであった。
36	Children's Art Competition to Promote Peace Dhaka, Bangladesh
37	2023年12月16日 Faridul (このイベントは前号でも一部を伝えた) 子供たちの間に平和を広げようと企画され、ピーススクールのアーティスト達と近隣の共同体の人々を結び付け『戦争を辞めよう！私達は平和を望んでいる』という力強いメッセージを掲げたイベントであった。 9か月の激戦と3百万人の犠牲の後に独立した、バングラデシュ人民共和国の国旗の赤い輪は、人々の権利と平和の為にささげられた犠牲を思い出させるものとなっている。このイベントは若い心に平和への展望と調和のとれた世界への夢を表現する場を与えることを目的としている。
38	Key People フランスサーバス本部役員の紹介、16名の地区役員、8名の本部役員
39	国際サーバスからのお知らせ SINBの編集者達紹介と記事を送ってくださいというメッセージ。 国際サーバス役員(2022~2025)紹介 国際サーバスの理念 『国際サーバスは非営利、非政府の各国のサーバス団体の連合体であり、ホストとトラベラーの国を越えたネットワーク作りを支援します。我々のネットワークは異なった文化や背景そして異なる国籍を持つ人々に個人的な交流の機会を提供することで、世界平和の構築、親善、相互理解の手助けを目指しています。』